

新潟市立岩室中学校教育ビジョン2021

教育理念(目標) 「自主・協同」の教育



学びを社会とつなぎ、「グローバル・マインド」を育成する

〒953-0132 新潟市西蒲区西中1421 TEL:0256-82-2059 FAX:0256-82-4381
URL: http://www.iwamuro-j.city-niigata.ed.jp/ E-mail: j801iwamuro-j@city-niigata.ed.jp

令和3年度 岩室中学校 年間行事予定表

[授業日数] 1・2年: 203日 / 3年: 190日 (年度当初の予定です。諸事情により変更になる可能性もあります。)

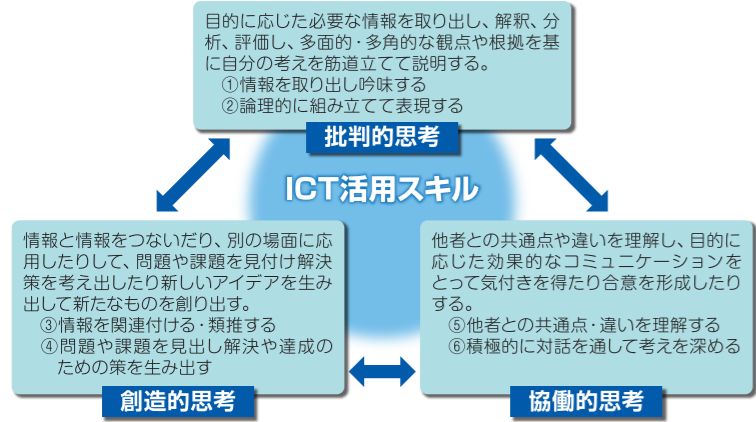
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 水 2 木 3 金 4 土 5 日 6 月 7 火 8 水 9 木 10 金 11 土 12 日 13 月 14 火 15 水 16 木 17 金 18 土 19 日 20 月 21 火 22 水 23 木 24 金 25 土 26 日 27 月 28 火 29 水 30 木 31 金	1 土 2 日 3 月 4 火 5 水 6 木 7 金 8 土 9 日 10 月 11 火 12 水 13 木 14 金 15 土 16 日 17 月 18 火 19 水 20 木 21 金 22 土 23 日 24 月 25 火 26 水 27 木 28 金 29 土 30 日 31 月	1 火 2 水 3 木 4 金 5 土 6 日 7 月 8 火 9 水 10 木 11 金 12 土 13 日 14 月 15 火 16 水 17 木 18 金 19 土 20 日 21 月 22 火 23 水 24 木 25 金 26 土 27 日 28 月 29 火 30 水 31 木	1 日 2 月 3 水 4 木 5 金 6 土 7 日 8 月 9 火 10 水 11 木 12 金 13 土 14 日 15 月 16 火 17 水 18 木 19 金 20 土 21 日 22 月 23 火 24 水 25 木 26 金 27 土 28 日 29 月 30 火 31 水	1 月 2 火 3 水 4 木 5 金 6 土 7 日 8 月 9 火 10 水 11 木 12 金 13 土 14 日 15 月 16 火 17 水 18 木 19 金 20 土 21 日 22 月 23 火 24 水 25 木 26 金 27 土 28 日 29 月 30 火 31 水	1 火 2 水 3 木 4 金 5 土 6 日 7 月 8 火 9 水 10 木 11 金 12 土 13 日 14 月 15 火 16 水 17 木 18 金 19 土 20 日 21 月 22 火 23 水 24 木 25 金 26 土 27 日 28 月 29 火 30 水 31 木	1 水 2 木 3 金 4 土 5 日 6 月 7 火 8 水 9 木 10 金 11 土 12 日 13 月 14 火 15 水 16 木 17 金 18 土 19 日 20 月 21 火 22 水 23 木 24 金 25 土 26 日 27 月 28 火 29 水 30 木 31 金	1 木 2 金 3 土 4 日 5 月 6 火 7 水 8 木 9 金 10 土 11 日 12 月 13 火 14 水 15 木 16 金 17 土 18 日 19 月 20 火 21 水 22 木 23 金 24 土 25 日 26 月 27 火 28 水 29 木 30 金 31 土	1 火 2 水 3 木 4 金 5 土 6 日 7 月 8 火 9 水 10 木 11 金 12 土 13 日 14 月 15 火 16 水 17 木 18 金 19 土 20 日 21 月 22 火 23 水 24 木 25 金 26 土 27 日 28 月 29 火 30 水 31 木	1 土 2 日 3 月 4 火 5 水 6 木 7 金 8 土 9 日 10 月 11 火 12 水 13 木 14 金 15 土 16 日 17 月 18 火 19 水 20 木 21 金 22 土 23 日 24 月 25 火 26 水 27 木 28 金 29 土 30 日 31 月	1 火 2 水 3 木 4 金 5 土 6 日 7 月 8 火 9 水 10 木 11 金 12 土 13 日 14 月 15 火 16 水 17 木 18 金 19 土 20 日 21 月 22 火 23 水 24 木 25 金 26 土 27 日 28 月 29 火 30 水 31 木	

誰もが幸せになる持続可能な社会を創るのは、自分の可能性を信じ、志をもってしなやかに粘り強く挑み続けられる人。あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、対話、協働できる人です。「知りたい」「何とかしたい」を解決しようと真剣に考え、多様な人々と力を合わせて挑戦し答えを創り出していく過程を通して、子どもたちの学びに向かう意識や行動が変わり、自分の未来、地域と社会の未来の創り手に成長していく学校を目指します。

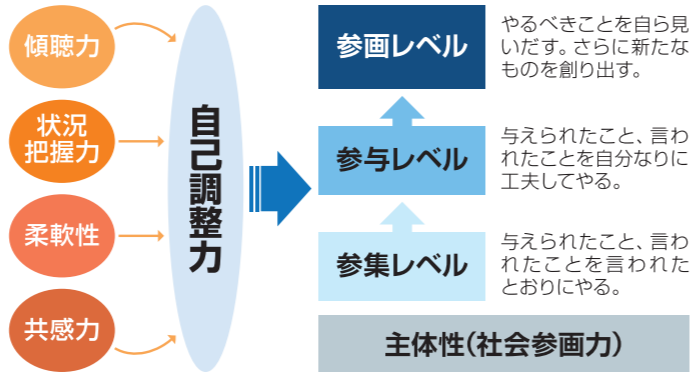
教育理念(目標)「自主・協働」の教育

- 1 「自立、自己実現に向かう力」を育てる。
- 2 二つの軸(何を大事にして、どんなふう生きていきたいか(「自主」の姿)、人とどうかかわり、社会とどうつながっていくか(「協働」の姿))を育てる。
- 3 「新しい時代に必要な資質・能力」を確かに身に付ける。

言語や情報を使いこなす力



自己調整しながら様々な集団の中で協働できる力



本年度から全面実施となった学習指導要領資質・能力の三本柱(「実際の社会や生活で生きて働く知識・技能」「未知の状況に対応できる思考力・判断力・表現力等」「学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性等」)に加え、当校では、すべての学習の基盤となる資質・能力として、「言語や情報を使いこなす力」「前に踏み出し、やり抜く力」「グローバル・マインド」「メタ認知する力」の四つを特に力を入れて育成します。

さまざまな活動を通して自主と協働の往還を促す中で、求める生徒の具体的な姿としてこれらを発揮させ、繰り返し経験させながら確かな力にしていくことで、教育目標を具現し、自立した大人として必要な、「自分でPDCAのサイクルを回していける力」「自己肯定力」「自己調整力(自分をコントロールしながら様々な集団の中で協働し、粘り強く課題解決に取り組む力)」「当事者意識をもち、創造性と変革する力を発揮して集団・社会に参画・貢献する主体性(社会参画力)」などが育まれます。

実践の重点と具体的手立て キーワード ⇒ 「学びを社会とつなぐ」「自主と協働の往還」「メタ認知」

1 Withコロナ時代の安全で安心な学校生活と学びの保障

2 各教科等の見方・考え方を働かせて深い学びが生まれる授業づくり

- ① 生活や実社会の現実の事象と知識・技能の往還が促される課題解決型学習や探究的な学習過程の工夫
- ② 細かな形成的評価のフィードバックとタブレット端末の活用による学習の個別最適化や自己調整を促す工夫
- ③ 目指す資質・能力の評価基準の明確化と生徒との共有、評価方法の工夫
- ④ 学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりして自らの学びを価値付ける場や方法の工夫

3 目的意識の醸成と自己決定を促す場や機会の充実、働き掛けの工夫による、自律性と社会性の育成

- ① キャリア・ノート等を活用した、目標の自己決定と定期的な振り返りの充実
- ② 特別活動において、一人一人の意見をしっかりと反映させて集団の目指す姿を設定し、達成に向けて自分の個性・能力をどのように発揮し仲間と協働していくかを明確にし、自分たちの手でPDCAサイクルを実践する場や機会の充実
- ③ 道徳や特別活動において、多面的、多角的に考えを吟味し、判断することを促す場や機会の充実
- ④ 総合的な学習や特別活動において、実社会や世界の問題・課題を自分事としてとらえ、グローバル・マインドを発揮して、自分の考えを表現し、他者と合意形成したり協働したりしていく探究の過程の充実(地域独自の文化や自然風土、歴史的資産を大切にしながら、SDGsの視点から考え、アクションを起こしていく)

4 多様な学びを保障する特別支援教育の組織的な推進

- ① 基礎的環境整備(学習環境のUDと指導方法のUD)の充実の組織的な推進(どの学級、どの授業、どの活動でも、当たり前に行われている状態に)
- ② 小学校との連携、ニーズと課題に対応した「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」に基づく合理的配慮の組織的な実践
- ③ アセスメント等に基づいた多面的な生徒理解と組織的な指導・支援の促進
- ④ 保護者の願いを丁寧受け止める機会の一層の充実

5 質の高い教育活動を支える効率的な運営活動の充実

- ① 短時間で効率的に成果が上がる指導法の工夫(目的の明確化と慣例にとらわれず時間対効果からの検討)
- ② 情報共有と意志決定システムの徹底(諸会議の精選・重点化、質の改善)
- ③ 予算執行管理の徹底とコスト意識の一層の向上
- ④ 地域と学校パートナーシップ事業、小学校との実効性ある連携・協働の継続とコミュニティ・スクール実施に向けた準備の推進
- ⑤ 地域や社会で活躍する人材と一緒に、目指す資質・能力を育てる学習活動を計画、実施、評価する仕組みを創るための新たなプロジェクトの立ち上げ
- ⑥ 保護者、地域住民にとってわかりやすく、実践の付加価値を高める情報発信の工夫と充実
- ⑦ 職員一人一人のアイデア創出と実現力、外部との連携と折衝力、自由闊達な議論と協働性の向上を図る研修の工夫と充実

求める生徒像

よりよい自分の在り方を求めて真剣に努力する生徒

- ① 目標を設定し、よりよく変わろうとする
- ② 進んで考えを創り出し、吟味し、判断する
- ③ 前に踏み出し、やり抜く
- ④ 学びを振り返り、成長を自ら価値付ける

育成を目指す資質・能力

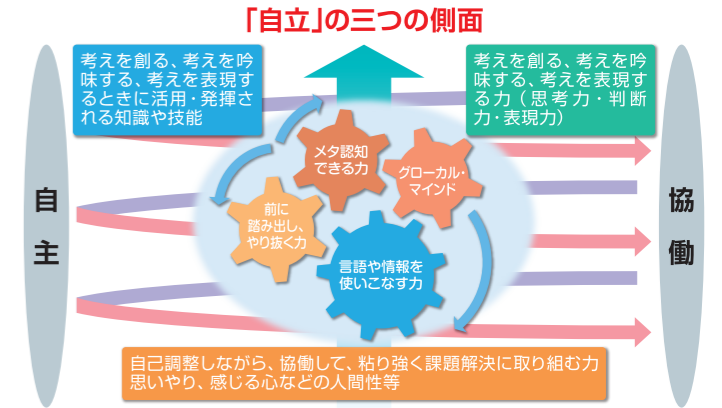
1 教科等の学習で育成する資質・能力の三本柱

- 考えを創る、考えを吟味する、考えを表現するときに活用・発揮される知識や技能
- 考えを創る、考えを吟味する、考えを表現する力(思考力・判断力・表現力)
- 自己調整しながら、様々な集団の中で協働でき、粘り強く課題解決に取り組む力
思いやり、感じる心などの人間性等

2 当校で重点を置く、すべての学習の基盤となる(教科横断的に育成する)資質・能力

認知	言語や情報を使いこなす力	批判的思考・創造的思考・協働的思考
非認知	前に踏み出し、やり抜く力	ICT活用スキル
	グローバル・マインド	
	メタ認知する力	

PDCAを回していく力 自己肯定力 主体性(社会参画力)



目指す資質・能力を育てる方策7

- 1 問題意識や当事者意識を触発し、目的意識をもたせる場や働き掛けを充実させます。
- 2 多面的、多角的に考えを吟味し、判断することを促す場や機会、働き掛けを充実させます。
- 3 タブレット等を活用し、対話的な活動によって得られた情報を整理統合して考えをまとめたり、獲得した知識や考え方を形として表現したりするアウトプットの場や機会を充実させます。
- 4 学びを実社会や世界の現実、自分の在り方や生き方とつなぐ場や機会を充実させます。
- 5 段取りを組み立てて実行していくための方法や効果的なスキルを体験的に身に付けさせる場や機会を充実させます。
- 6 試行錯誤(トライ&エラー&トライ)を促す場や機会を充実させます。
- 7 目標や指標に基づいて自らの成長を振り返り、さらにどう成長したいのかを考え、決める場や機会を充実させます。

特別活動等での学び

目標や指標に基づいて自らの成長を振り返り、さらにどのような姿を目指すのかを考え、決める場や機会を充実させます。
※キャリア・ノート(キャリア・パスポート)

日常の学級活動や生徒会活動、行事において、一人一人の意見をしっかりと反映させて集団の目指す姿を設定し、達成に向けて自分たちの手PDCAサイクルを実践する場や機会を充実させます。(共感的、支持的な学級・学校風土の形成)

道徳や特別活動において、多面的、多角的に考えを吟味し、判断することを促す場や機会を充実させます。

総合的な学習の時間や特別活動における地域社会と協働する場や機会の質を高めることによって、生徒が自分や社会にとって意味あるものとして価値付けられるようにします。

日常活動や行事の目的(何のためにそれをやるのか)を最初に教師と生徒、生徒と生徒、教師と教師で共有します。

生徒自身が目的意識をもつように工夫します。
→挑戦しよう! やってみたい! 集団をこうしたい! こんなに人になりたい(自分の目指す姿・あこがれ)

教科等での学び

振り返りを通して、資質・能力の自覚を促し、次への場面で発揮させていきます。
※教科等のポートフォリオ

主体的・対話的で深い学びを通して、資質・能力を育成します。

生徒がやってみたいと思うような問題意識や必要感を触発し、目的意識をもたせるように工夫します。

各教科等の見方・考え方を働かせて深い学びが生まれるような授業過程を工夫します。

- ① タブレット等を活用して必要な情報を収集、吟味させる。既存の知識(生活経験に基づく素朴概念、前学年や前単元・前時の既習事項など)と関連付けて調べさせる。
- ② 体験したり試行錯誤したりさせる。
- ③ タブレット等を活用して自分の考えを形成させる。(必要に応じてフレームワーク等を活用させる。文字的、数的、操作的、身体的、音楽的などの形でアウトプットさせる。)
- ④ タブレット等を活用してリアルタイムで考えや情報を交流・共有する。
- ⑤ 仲間との対話の目的(思考を広げるのか、焦点化・構造化するのか、検討・検証するのか、結論を出すのか)と目標(どんなことについて、どれくらいの時間で、どういうことをするのか)を明確に示し、生徒と共有する。
- ⑥ 対話(他者との対話、自己内対話)を促し、考えや情報等を精査したり、関連付けたりして学習課題の結論を出させる。

○すべての生徒が取り組みやすさ・学びやすさを実感できる学習環境と指導方法のUDを組織的に一層進めます。

- 地域と学校パートナーシップ事業、小学校との接続・連携を継続し、実効性を一層高めます。
- 2022年度からのコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)実施に向けた準備を進めます。
- GIGAスクール構想の推進や校務支援システムの活用により、短時間で効果的な指導方法、運営活動を工夫します。